



平成 23 年度 第 3 回 JICA アフリカ環インド洋経済圏貿易投資促進研修
- JICA Facilitating Trade and Investment in Indian Ocean-Rim Economic Region -



(神戸国際協力交流センターにて講義)

研修期間：平成 23 年 8 月 30 日～9 月 16 日 (3 週間)

研修場所：神戸/東京

研修内容：環インド洋経済圏のアフリカ諸国における
貿易投資促進に関する講義/視察

参加研修員：11 名 (エチオピア 1、ケニア 2、
モーリシャス 1、モザンビーク 2、
タンザニア 1、ザンビア 4)

当財団では、独立行政法人国際協力機構(JICA)からの委託を受け、アフリカ環インド洋経済圏貿易投資促進研修を実施しました。3 年間の研修の最終年度となる本年は、昨年に引き続き、エチオピア・ケニア・モーリシャス・モザンビーク・タンザニア・ザンビアから、貿易振興及び投資促進を担当する政府職員を 11 名迎え、神戸市内及び東京で 3 週間の研修を行いました。本研修は、環インド洋経済圏*¹に属するアフリカ諸国とアジア諸国の経済関係が貿易・投資促進という観点から強化されることを目的としており、研修員は、アジア諸国の経済発展の歴史とその背景にある産業政策を学ぶと共に、近年の日本の政府援助及び民間企業投資動向への理解を深め、これらの活用も視野に入れた貿易・投資促進による自国の持続可能な発展のための政策案を完成させました。日本での研修を修了した研修員は、高度に成熟した日本の現場での視察を補完するために、マレーシアでの 1 週間の研修に参加しました。



～研修を振り返って～

飢餓・貧困・紛争といったイメージにとらわれがちなアフリカですが、近年、『希望と機会の大陸』として世界中から注目を浴びています。豊富な資源という潜在性を有し今後さらなる発展が期待されるアフリカ諸国において、自国の資源をどう活かし持続的発展に繋げるか、そのために政府はどのような役割を果たすべきか—この答えを導き出すために、研修員は、本研修において、過去半世紀に急成長を遂げたアジア諸国の発展の歴史と教訓、環インド洋経済圏の貿易・投資関係の現状と可能性を学び、今、各国でどのような貿易・投資促進政策が必要とされているか議論を交わしました。

また、日本政府・民間企業によるアフリカに対する方針、官民連携による国際協力について取り上げた講義では、JICA 職員に加え、元三菱商事(株)常務執行役員及び住友化学(株)社員でアフリカへの投資事業に直接携わった民間企業出身者に講義をいただきました。これらの講義に対して、研修員からは、「日本政府・民間企業の特徴を知ることができ、援助・投資増大のためにどのようなアプローチをすれば良いか分った」「日本からの投資を増やすために政府の強いリーダーシップと周辺国に先駆けたビジネス環境整備がいかに重要か認識した」との声が寄せられました。特に、民間企業出身者の経験談に触れた際には、話に引き込まれ、次々と

*1: 環インド洋経済圏とは、オセアニア・東南アジア・南アジア・中近東・アフリカまでも含む経済圏であり、中でも、今日、アジア諸国とアフリカ諸国の間での貿易・投資関係が緊密化しつつあります。環インド洋経済圏に関する詳細な説明は、22 年度の研修内容をご参照ください。

講師へ質問を投げかける研修員の姿が印象的であり、「今後より多くの日本企業がアフリカ市場に進出し、自国の発展の牽引役になってくれることを期待したい」という意見に代表されるように、援助・投資受入国との連携を重視し、受入国における雇用創出・技術移転・人材開発に貢献するなどアフリカ諸国の自助努力を後押ししながら経済発展を促す日本らしい援助・投資への期待の大きさもうかがえました。研修員が日本との貿易促進・日本からの投資誘致を活用した自国経済の発展のためのヒントを得る機会を提供でき、大変嬉しく思います。

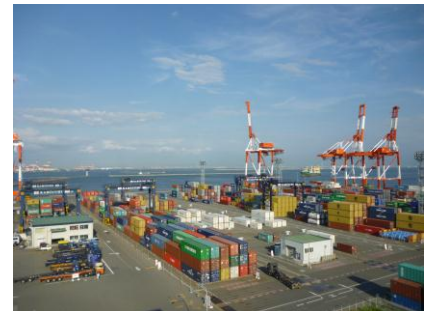
主な研修場所となった神戸では、複数の視察先を訪問しました。神戸港では、船上から港湾施設を見学するだけでなく、(株)上組のコンテナターミナルを訪れ、船の発着・荷役の様子を間近で見て、日本を代表する国際貿易港の最先端の物流施設を肌で感じ、貿易・投資促進のためのインフラ整備の重要性と合わせ、神戸港の国際競争力強化のための港湾サービス向上



(株)上組のコンテナターミナルの見学)

への取り組みへの理解を深

めていました。また、海から見る緑豊かな六甲山を背景とした神戸の美しい街並みには、すべての研修員が魅了されているようでした。一方、UCCでは、コーヒー博物館と合わせ、家庭用レギュラーコーヒーの主力工場である六甲アイランド工場で、世界各地からの原料(コーヒー豆)の輸入から品質検査・焙煎・ブレンド・包装作業に至るまでコーヒー製造の全



(神戸港の港湾施設の見学)

工程を見学しました。参加国の多くはコーヒー豆の産地であり、アフリカ諸国からのコーヒー豆の輸入実績や各国の豆に対する印象など質問が相次ぎ、研修員の関心の高さがうかがえました。研修員からは、「原料輸出国としてUCCのようにコーヒー博物館を作り輸出促進に繋げたい」「日本の消費者の嗜好や品質基準など日本への輸出促進のために有益な情報を得ることができた」との意見が寄せられ、アフリカ諸国と長年にわたり貿易実績のある神戸を代表する企業への訪問は大きな収穫となったようです。これらの視察は、神戸でしか得られない経験として、研修員の胸に深く刻まれたことと思われま



(UCC 六甲アイランド工場の見学)

研修事業を通じた国際協力・国際交流、そして日本・神戸の魅力の発信は、私たち職員の使命です。短期間の滞在ながらも、研修員が日本・神戸への理解を深め、「また是非訪れたい」と好印象を持ってもらうことができ光栄です。研修員が、日本・神戸とアフリカ諸国の架け橋となり両国の交流がさらに深まること、得た知識・経験を今後の貿易・投資促進を通じた自国の経済発展に活かしてくれることを期待しています。

研修担当：宮崎 紘子

委託元機関：独立行政法人国際協力機構(JICA)兵庫国際センター

研修指導者：神戸大学大学院国際協力研究科 高橋 基樹 教授

講義/視察先：神戸大学/金沢大学/東京大学/創価大学/武蔵大学/長崎県立大学

JICA 本部/アジア経済研究所/神戸市みなと総局/神戸港埠頭(株)


住友化学(株)/(株)上組/(有)サミット・ラボ/(株)福原精機製作所/UCC コーヒー博物館/UCC 六甲アイランド工場

【順不同】



～研修員の声『神戸を訪れて（要約）』～
Participant's Voice 『VISIT TO KOBE』



国名：ザンビア 
名前：Ms. Misozi Malilwe SAMBOKO
所属：ザンビア開発庁投資促進民営化局 投資促進担当官

My study and stay here in Kobe has been priceless. I cannot put into words the experiences that I have had this past month. Kobe provides a great environment for the students to learn in and out of class. In terms of studying at Hyogo International Center, I feel that the program surpassed my expectations. The standards of lecturing were at an extra-ordinary level, incorporating many aspects of the Japanese culture and way of living. The coordinators were very friendly and kept up a good atmosphere of study and fun. One of the best things about the program was the rare opportunity of visiting the Honorable Mayor of Kobe. Indeed I would say this was a million dollar chance. Overall I was extremely pleased with my experience in Kobe and I would love to do it again.

神戸での学習・滞在は非常に貴重な経験でした。神戸は教室の内外で生徒に素晴らしい学習環境を提供してくれる場所です。

本研修は、講義の水準が非常に高く、日本の文化や生活様式を学ぶ様々な要素が組み込まれており、私の期待以上のプログラムでした。コーディネーターはとても親切で、私たちが日本で学習し、滞在中を楽しめるよう良い雰囲気作りに努めてくれました。プログラムの最も良かった点の一つとして、神戸市長の表敬訪問というなかなか得ることができない機会を与えてもらったことが挙げられます。神戸での経験のすべてにとっても満足しており、また是非神戸を訪れたいと思っています。



国名：タンザニア 
名前：Mr. Ombeni Naiman MWASHA
所属：産業貿易省貿易統合部 貿易担当官

Port of Kobe...Unforgettable experience! My experience in Kobe City was amazing. The people, the culture, the places, almost everything about Kobe were so cool and I would definitely recommend other people to visit Kobe City. As a JICA trainee, I had a chance to visit Kobe Port with other colleagues and we were carried in a very beautiful and luxurious boat. We toured all areas around the port and it was amazing with very modern facilities and many ships come and leave to other places in Japan and in overseas. Kobe Port is one of the most beautiful and modern ports I have ever seen. Kobe Port has a very nice backdrop of flourishing green Rokko Mountain and deep water with beautiful coastline and pleasant climate. Port of Kobe is an experience that I will never forget. Kobe City will always have a special place in my heart. I love Kobe!

神戸市での経験はすべてが素晴らしく、他の人にも神戸市を訪れることを是非お勧めしたいと思います。

私は JICA の研修員として、とても美しく立派な船で神戸港を訪れる機会に恵まれ、非常に近代化された港湾設備と国内外の様々な場所から寄港し、また出港する数多くの船を見学しました。神戸港は、緑豊かな六甲山を背景にして、美しい海外線及び快適な気候に恵まれ、今まで見た港の中でも最も美しく近代化された港の一つであり、神戸港の見学は忘れられない経験になりました。神戸市はこれからもずっと私にとって特別な場所であり続けます。

